



# ぐるり庄原 カメラ レポート



## バイオマスの魅力にふれる

### 中国5県バイオマスエネルギーフォーラム

3月4日(土)・5日(日)の2日間、市内で中国地方知事会共同事業「中国5県バイオマスエネルギーフォーラム」が開催され、約500人の参加がありました。

フォーラムでは、バイオマスエネルギー活用についての講演や中国5県の代表によるパネルディスカッションが行われ、人と環境にやさしいライフスタイルの提案や、バイオマスエネルギーによるまちづくりの魅力について熱く語られました。また、バイオマスエネルギーの活動事例を紹介したパネル展、ペレットストーブや自然エネルギー機器展、木炭自動車の試乗会もあり、参加者は見て、体験してバイオマスへの理解を深めていました。

なお、市内でさまざまな取り組みを進めているNPO法人森のバイオマス研究会は、これまでの取り組みが評価され、平成17年度バイオマス利用優良表彰の農村振興局長賞を受賞されました。



多くの人が集まった講演



## 万々に備えて訓練

### 赤十字奉仕団がボランティア訓練



袋に入れた米を鍋で炊く団員の皆さん

3月11日(土)、西本町のプレイランドで、庄原市赤十字奉仕団の災害救援ボランティア訓練が実施されました。

庄原市赤十字奉仕団は、赤十字の理念である人道・博愛の精神のもと、災害時のボランティア活動をはじめとした各種奉仕事業を行うもので、当日は約100人の団員が参加し、移動炊飯用の鍋を利用した炊き出しやけが人の搬送などの訓練に取り組みました。さらには、電気ショックにより停止した心臓を動かすための除細動機器の使い方など実践的な内容もあり、委員長の寺岡隆行さんは「万々に備えて技術を学ぶため、全員で訓練をしていきたい」と話されました。



## マンパワーで産地を守る

### 高野のりんご園で雪害ボランティア

今冬の記録的な豪雪により、推定約1億円の被害がでた高野のりんご園で、市や県の職員・農業委員など、のべ150人以上が、3月下旬から4月上旬の土日・祝日でボランティア作業を行いました。

「県内一のりんご産地の復旧に取り組もう」の呼びかけに集まったボランティアは、小雨や小雪の中で、折れた木を切ったり、剪定した枝を集めたりしました。

りんご園では、昨年12月の重たい雪の影響で、りんごの幹が裂けたり、木が折れたりする被害が相次いだことや、残雪により剪定作業が大幅に遅れていました。りんご農家の皆さんは「ボランティアのおかげで作業の遅れを取り戻せる。自然災害に負けず、おいしいりんごを作っていきたい」と喜びを話されました。



精一杯作業に取り組みました



## さまざまな角度から自然を撮影

### 第17回中国山地豊かな自然写真コンテスト



市長賞受賞作品「朝光」  
西本等さん(広島市)

市立比和自然科学博物館が主催する「中国山地豊かな自然写真コンテスト」が、今年も開催され、多くの作品が寄せられました。今年で17回目を迎えたこのコンテストは、自然や生き物、風物詩などをテーマに、毎回作品を募集しています。

今年は、県内外から88人、合計192点の作品の応募があり、審査の結果、市長賞1点、特選3点を含む50点が入賞作品として選ばれました。

応募作品は、4月7日(金)から約1カ月間、比和郷土文化保存伝習施設(比和文化会館内)で公開されます。



特選作品「水辺の晩秋」  
猫田薫さん(庄原市)



## 春の風物詩とイベントを満喫

### 節分草祭



芝生で食事しながら春を満喫

3月19日(日)、1カ月にわたり開催してきた節分草公開の締めくくりとして、節分草祭を開催しました。

当日は、少し肌寒いものの春の日差しも感じられ、訪れた人たちは、山野草寄せ植え教室や俳句会などのイベントに参加。また、地域の人たちが出店したイベント会場などで温かい食べ物を味わったり、河川公園の芝生で春を満喫しながら食事をするなど、大人から子どもまでみんなで楽しむ姿が多く見られました。

今では総領地域の春の風物詩となった節分草の公開は、実行委員会、ボランティアガイド、NPO法人節分草保存会など、多くの人が関わりさまざまに活躍することで今年も無事終了しました。



各種イベントは多くの人ににぎわいました



## 大人から子どもまで水を楽しむ一日

### 第6回水夢フェスティバル



スタートの合図とともに一斉に飛び込む

小雪の舞う3月19日(日)、西城温水プール「水夢」で第6回水夢カーニバルが開催され、市内外からおよそ130人が参加しました。

集まったのは幼児から60歳台までの皆さんで、自由形や平泳ぎ、個人メドレーやリレーなど24種目の競技に分かれ、それぞれ自分の限界にチャレンジ。保護者をはじめ多くの観客は、プールサイドから「頑張れ」、「あと少し」などの声援を選手たちに送っていました。また、競技の合間には「アクアエクササイズ」も開催され、参加者も楽しく水中で体を動かしました。



リズムに乗ってアクアエクササイズ



## 新たな生活交通

### 東城地域生活交通バスが運行開始



皆様のご利用をお待ちしています

東城地域では、3月2日から、路線バスが運行していない地域と東城市街地を結ぶ「地域生活バス」と、東城市街地を循環し病院や観光施設などを結ぶ「市街地循環バス」が運行を開始しています。

地域生活バスは全11路線で、月曜から金曜のうちで週2日・1日2往復(宮原線は毎日)運行しています。運賃は、乗車距離によって100円から400円です。

また市街地循環バスは、こぶしの里を発着点として1日6便運行し、運賃は1乗車100円です。買い物や通院などにぜひご利用ください。詳しくは、東城支所市民課(08477-2-5126)までお問い合わせください。



運行開始式でのテープカット  
(3月1日(水) 東城支所)



## 明るく元気に英語を楽しもう

### 口和ジュニア英会話教室

学校教育での英語活動に加え、子どもたちにさらに英語に慣れ親しんでもらおうと、口和地域ではジュニア英会話教室が実施されています。この教室は、12月からスタートし、毎月第3土曜日に開催。受講しているのは、小学1年生から5年生の22人で、講師にはアーロンスミスさんを招き、あいさつから音楽、ゲームなどを中心に遊びの中で英語に慣れ親しんでいます。

3月18日(土)の開催には20人が参加。アーロンさんと一緒に、カード取りゲームやコインを使ったの買い物ゲームなどで、声を出しながら元気に英語を楽しむ子どもたちの姿が見られました。



カードゲームを楽しみながら英語を学ぶ子どもたち